



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント案内・編集後記・裏表紙ほか. 物性研究 1991, 56(2): 266-268

ISSUE DATE:

1991-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/94496>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
平成3年5月20日発行(毎月1回20日発行)  
物性研究 第56号 第2号

ISSN 0525-2997

**vol.56 no.2**

# 物性研究

**1991/5**

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ $\square$ ”、イタリック“ $\sim$ ”、ゴシック“ $\sim$ ”、ギリシャ文字“ $\gamma$ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくい  $o$  と  $a$  と  $0$  (ゼロ)、 $u$  と  $n$  と  $r$ 、 $c$  と  $e$ 、 $l$  (エル) と  $i$  (イチ)、 $x$  と  $\times$  (カケル)、 $u$  と  $v$ 、 $\dagger$  (ダガー) と  $+$  (プラス)、 $\psi$  と  $\phi$  と  $\Psi$  と  $\Phi$  等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性の研究を共同で促進するため、研究者がその研究・意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査を行ないません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で **private communication** 扱いにして下さい。

### 投稿規定

1. 原稿は400字詰原稿用紙を使用し、雑誌のページ数を節約するために極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は2部（オリジナル原稿及びコピー）提出して下さい。
3. 数式、記号の書き方は **Progress, Journal** の投稿規定に準じ、立体“ $\square$ ”、イタリック“ $\sim$ ”、ゴシック“ $\sim$ ”、ギリシャ文字“ $\gamma$ ”、花文字、大文字、小文字等を赤で指定して下さい。又特に区別しにくい  $o$  と  $a$  と  $0$  (ゼロ)、 $u$  と  $n$  と  $r$ 、 $c$  と  $e$ 、 $l$  (エル) と  $i$  (イチ)、 $x$  と  $\times$  (カケル)、 $u$  と  $v$ 、 $\dagger$  (ダガー) と  $+$  (プラス)、 $\psi$  と  $\phi$  と  $\Psi$  と  $\Phi$  等も赤で指定して下さい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図はそのまま印刷できるもの（原則としてトレースされたもの）とそのコピーを本文と別に論文末尾に揃え、図を入れるべき位置を本文の欄外に赤で指定して下さい。図の縮尺、拡大は致しません。図の説明を含め1頁（13×19cm）以内に入らないもの、そのまま印刷できない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。図中の文字は活字にいたしません。図の説明は別紙に書き、原稿に添えて下さい。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけ避けるようにして下さい。
8. 別刷御希望の方は投稿の際に50部以上10部単位でお申込み下さい。別刷代は別刷代金表（当会にご請求下さい）に従い、別刷を受取ってから1ヶ月以内に納めて下さい。（郵便切手による受付はいたしません。）
9. 原稿締切日は毎月5日で、原則として次月発行誌に掲載されます。

## プレプリント案内

[東京大学理学部 和田研究室]

1769

S. Maekawa, R. Kato, Y. Enomoto,  
Computer Simulations of Vortex States in a Superconducting Film

1770

S. Maekawa, Y. Ohta, T. Tohyama,  
Electronic Structure in Superconducting Copper Oxides

1771

Y. Ohta, T. Tohyama, S. Maekawa,  
Charge-Transfer Gap and Superexchange Interaction in Insulating  
Cuprates

1772

Paul Scherrer Institut,  
Neutronen-Streuung (Progress Report) Januar-Dezember 1990

1773

S. Brazovskii, S. Matveenko,  
On the Current Conversion Problem in Charge Density Wave  
Crystals I: Solitons

1774

K. Iwano, K. Nasu,  
Theory for Spectral Shape of Optical Absorption in  
Halogen-Bridged Mixed-Valent Metal Complexes

1775

H. Ushio, T. Shimizu, H. Kamimura,  
Clarification of the Temperature Dependence of Hall Effect in  
the Normal State of  $\text{La}_{2-x}\text{Sr}_x\text{CuO}_4$

1776

T. Shimizu, K. Nomura, T. Sambongi, H. Anzai, N. Kinoshita  
M. Tokumoto,  
Temperature dependence of the threshold electric-field for  
depinning of the spin-density wave in quenched  $(\text{TMTSF})_2\text{ClO}_4$

1777

Research Association for Basic Polymer Technology,  
Studies on Electrically Conducting Polymers

1778

S. Wakahara,  
Theory of Hot-Electron Transport in Strong Magnetic Fields

1779

S. Stafstrom,  
Soliton lattice in highly doped trans-polyacetylene

1780

A. F. Hebard, M. J. Rosseinsky, R. C. Haddon, D. W. Murphy  
S. H. Glarum, T. T. M. Palstra, A. P. Ramirez, A. R. Kortan,  
Superconductivity at 18K in Potassium Doped Fullerene,  $K_xC_{60}$

1781

I. Batistic, A. R. Bishop,  
RPA approach to phonon spectra in MX-compounds

1782

K. Yonemitsu, I. Batistic, A. R. Bishop,  
An RPA approach to collective modes around inhomogeneous  
Hartree-Fock states

## 編集後記

放っておくとまたたく間に机上が文書類で埋め尽くされる程のこの情報化社会において野放しに文書類を配布されるのは迷惑だし、第一貴重な資源の無駄である。このことは本誌についても言える。有効な情報が凝縮された記事の掲載が望ましい。編集委員会では「特別寄稿」などをお願いして紙面の充実に努力している。読者諸兄姉の御協力をお願いしたい。

と云う訳で文書類の整理をしていると、先年、ある先生からいただいた一枚の紙片が書類の底から現われた。示唆に富む辛口の警句に満ちているので、ここに再現する。題して「話す時に心がけて致すまじこと」

一、ことばの多き 一、口のはやき 一、とはずがたり 一、さしで口 一、手がら話 一、公事の話 一、ふしぎの話 一、公儀のさた 一、人の物いひきらぬ中にもものいふ 一、ことばのたがい 一、能く心得えぬ事を人に教ふる 一、物いひのきはどき 一、話の長き 一、かうしゃくの長き 一、ついでなきはなし 一、自まん話 一、いさかひ話 一、物いひのはてしなき 一、へらず口 一、子どもをたらず 一、たやすく約そくする 一、ことごとしく物いふ 一、いかつがましく物いふ 一、ことわりのすぎたる 一、その事のはたさぬうちに此事をいふ 一、人のはなしのじゃまする 一、しめやかなる座にて心なく物いふ 一、事々に人のあいさつきかうとする 一、酒にえひてことわりをいふ 一、さきに居たる人にことわりをいふ 一、親せつらしく物いふ 一、人のこと聞きとらず挨拶する 一、悪しきと知りながらいひとほす 一、ものしりがほにいふ 一、ひき事の多き 一、あの人にいひてよきことをこの人にいふ 一、へつらふ事 一、あなどる事 一、人のかくす事をあからさまにいふ 一、顔を見つめて物いふ 一、腹立てる時ことわりをいふ 一、はやまり過ぎたる 一、己が氏素性高きを人に語る 一、推し量りの事を真事なしていふ 一、ことばとがめ 一、さしたる事もなきをこまごまといふ 一、見る事きく事を一つ一ついふ 一、役人のよしあし 一、こどものこしゃくなる 一、わかい者のむだばなし 一、首をねじて理くつをいふ 一、ひき事のたがふ 一、おしのつよき 一、いきもつきあわず物いふ 一、好んでから言葉をつかふ 一、くちまね 一、都言葉をおぼえてしたる顔にいふ 一、ね入りたる人をあわただしくおこす 一、説法の上手下手 一、よく物のかうしゃくをしたがる 一、老人のくどき 一、しかたばなし 一、こわいろ 一、口をすぼめて物いふ 一、めずらしき話のかさなる 一、品に似合はぬはなし 一、人のことわりを聞きとらずしておのがことをいひとほす 一、いなか者の江戸言葉 一、よく知らぬことを憚なくいふ 一、きき取ばなし 一、人にあうて都合よくとりつくろうていふ 一、わざと無ざうさにいふ 一、貴人に対してあういたしまする 一、学者くさき話 一、風雅くさき話 一、さしてもなき事を論じる 一、人のきりょうのあるなし 一、幸の重りたる時物多くもらふ時、有り難き事をといふ 一、くれて後人にその事を語る 一、おのれがかうしたかうした 一、あひだの切れぬ様に物いふ 一、さとなくさき話 一、茶人くさき話 一、くはの口さく 一、ふしもなき事にふしを立てる 一、あくびと共に念仏 一、人に物くれぬ先に何をやろうといふ 一、あういたしました、かういたしました、ましたましたのあまり重なる 一、はなであしらふ

(貞心尼、蓮の露より)

これだけ挙げられたら窮屈で何も話せなくなる。本当に話す値打ちのあることだけに限るべしと云う事だろう。情報過剰の時代に本当に書く値打ちのある記事が求められている。願わくは、この後記が無駄記事の象徴でないことを！

(Y. A.)

---

物 性 研 究    第56巻第2号（平成3年5月号）    1991年5月20日発行

発行人	小 貫      明	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内
印刷所	昭 和 堂 印 刷 所	〒606	京都市百万辺交叉点上ル東側 TEL(075) 721-4541~3
発行所	物性研究刊行会	〒606	京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

年額    15,600 円

---



## 会員規定

### 個人会員

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までになるべく1年間分会費を御支払い下さい。

なお新規入会お申込みの場合は下記の会費以外に入会金として、100円お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1st volume (4月号～9月号)	4,200円
2nd volume (10月号～3月号)	4,200円
計	8,400円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
(振替貯金口座 京都1-5312) (現金書留は御遠慮下さい)  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。  
雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず会員本人の名前を明記して下さい。
3. 送本中止の場合：次の volume より送本中止を希望される場合、かならず「退会届」を送付して下さい。
4. 会費の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols. 以上の会費を滞納された場合には、送本を停止することになっていますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人宛送本中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人宛送本中止、一括配布希望」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等により送本先が変った場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関会員

1. 会費：学校・研究所等での入会及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1冊 1,300円、1 Vol. 7,800円、年間15,600円です。この場合、入会金は不用です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。入会申込みをされる時、支払いに請求、見積、納品書が各何通必要かをお知らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合：発行途上にある volume の途中送本中止は認められません。退会される場合には、1ヶ月前ぐらいに中止時期を明記して「退会届」を送付して下さい。

雑誌未着の場合：発行日より6ヶ月以内に当会までご連絡下さい。

物性研究刊行会

〒606 京都市左京区北白川追分町 京都大学湯川記念館内

☎ (075) 753-7051 722-3540

物 性 研 究 56—2 (5月号) 目 次

○研究会報告	
「カオスとその周辺」.....	101
○プレプリント案内.....	266
○編集後記.....	268

物 性 研 究 56—2 (5月号) 目 次

○研究会報告	
「カオスとその周辺」.....	101
○プレプリント案内.....	266
○編集後記.....	268